

事業所名

放課後等デイサービス ひなた

支援プログラム

作成日

令和7

年

3

月

7

日

法人（事業所）理念														
支援方針		○一人ひとりの特性に応じた視覚ツールの活用により、自宅以外の場所でも安心して過ごせる環境作りを目指します。 ○買い物学習や、公共交通機関を活用した外出等の設定により、楽しく社会のルールを学び身に付けていきます。 ○自分に合ったコミュニケーションの方法を習得し、SOSの発信や要求が行える支援を目指します。 ○ひなたの活動を通じて、自立を目指します。												
営業時間		平日	10	時	00	分から	18	時	00	分まで	送迎実施の有無	ありなし	延長	相談可能
		学校休業日	9	時	00	分から	17	時	00	分まで				
		支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	・一人ひとりの特性に応じたスケジュールの活用。見通しを持って過ごす経験を積む ・構造化された環境での支援 ・毎日の検温、手洗いの実施に加え、必要に応じて口腔ケアの実施												
	運動・感覚	・姿勢保持 ・道具の使い方や、上手に使う練習 ・日常生活動作の向上 ・公園や散歩、自然と触れ合いながら体力作り												
	認知・行動	・感情の概念・色形概念 ・指示理解と行動 ・日付、曜日、時間等の概念や理解												
	言語 コミュニケーション	・絵カードコミュニケーション等を活用し、発語がない児童でも要求や選択等が行える支援 ・個々のアセスメントに基づいた視覚ツールを活用した支援 ・相談スキルの習得												
	人間関係 社会性	・買い物支援や地域の方との触れ合いを通じ、交流の機会 ・外出先での交通ルールや、社会のルールを学ぶ機会（順番を守る、列に並ぶなど） ・他者との適切な距離感を学ぶ												
家族支援		個々の子どもに関する事項、支援内容と意図、家族のニーズに応じて、相談・説明・助言の実施							移行支援		・進学、進級時等における関係機関との情報共有、連携 ・インクルージョンに向けた取り組みの推進			
地域支援・地域連携		・相談支援事業所等との連携 ・商店街の方々との交流 ・公共交通機関の活用							職員の質の向上		・県や市町村主催の研修への参加 ・その他療育機関の研修への参加 ・アドバイザー内部研修（個々に応じた支援方法について検討会） ・虐待防止／身体拘束適正についての研修 ・支援会議 ・社内MT			
主な行事等		・花見 ・プール活動 ・ハロウィン ・クリスマス会 ・餅つき大会 ・公共施設への外出 ・公共交通機関を利用した外出など												